NIE実践報告

1．タイトル：四工生の読めない漢字データベース作り

2．学校名

三重県立四日市工業高等学校

3．実践者名（代表者名）

北川淳一

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代社会　120人

6．単元（本時の学習課題）名

政治・経済学習（投げ込み教材）

7．目標(狙い)

社会人として新聞を読む習慣を身につけさせ、難読漢字や語句を読み解く手法を考えさせ、そのスキルを身に付けさせる。

8．評価の視点

NIE活動　新聞漢字トレーニング　四工生の難読漢字100問を作り取り組む

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

読めない漢字を、脳内の「読めないファイルボックス」に入れておき、トレーニングをすることで、正答を日常生活の中から引き出す訓練である。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

新聞紙を広げ、その8分の1、もしくは4分の1に切って、生徒に配布。

教師：「今日は窓拭き？　じゃないぞ！」
教師：「新聞紙片面でいいので文字の多いほうを」
「隅からスミまで、ずずいっと、しっかりと読んでください（笑」
「自分の読めない漢字（人名・地名を含む）を赤丸をつけ15分で提出してください」
（8分の1の時は、10分でもいい。新聞の端っこに、赤丸数と記名の上提出さす）

そのデータを集めパソコンを使って、こつこつ打ち込み。ワードのルビうち機能使い、100問を作る。
（本当はPC教室で生徒自らに、させたいのだが・・・PC室の空き余裕がない）

11．児童・生徒の反応、感想・意見

「生徒自らの手で集め、自分たちのためのデータによる・トレーニングテスト」、ですので、必ずものすごい勢いで取り組みます。平均点は、50点を越えませんが。「次はいつですか？」の問い合わせも・・・。

12．成果と課題

大学進学・就職のための業者テスト、定期テスト、漢字検定にはない、NIE活動ならではのデータベース＆テストができました。3年目になります。毎年、800問積み上げています。新聞も読めて、社会にも関心をもてて、漢字は、先生がトレーニングテストチャレンジして読むという試みです。
ヒントは、昔の生活からです。　http://86144714.at.webry.info/　参照